

## 鍼灸の適応症

鍼灸治療を受ける患者様の多くは、肩こり・腰痛・ひざの痛みを持った方々です。それにより、こういった症状にのみ効果があるのが鍼灸治療だと考える人も少なくないでしょう。しかし、実際には、こういった特定の疾患だけでなく、私たちの身体に起こる様々な疾患に効果があるとされています。

### 適応症（例）

1979年にWHO（世界保健機関）が鍼灸治療の適応疾患を発表して以降、アメリカ国立衛生研究所が鍼灸治療の有効性に関する声明を発表するなど世界的にも認められるようになりました。そんな鍼灸治療が適応する疾患は以下の通りです。

#### **神経系疾患**

自律神経失調症、神経痛、神経麻痺、痙攣、脳卒中後遺症、頭痛、めまい、不眠、神経症、ノイローゼ、ヒステリー

#### **運動器系疾患**

関節炎、リウマチ、頸肩腕症候群、頸椎捻挫後遺症、五十肩、腱鞘炎、腰痛、外傷の後遺症（骨折・捻挫・打撲・むちうち）

#### **循環器系疾患**

心臓神経症、動脈硬化症、高血圧症・低血圧症、動悸、息切れ

#### **呼吸器系疾患**

気管支炎、喘息、風邪および予防

#### **消化器系疾患**

胃腸病（胃炎、消化不良、胃下垂、胃酸過多、下痢、便秘）、胆嚢炎、肝機能障害、肝炎、

胃十二指腸潰瘍、痔疾

#### **代謝内分泌系疾患**

バセドウ病、糖尿病、痛風、脚気、貧血

#### **生殖・泌尿器系疾患**

膀胱炎、尿道炎、性機能障害、尿閉、腎炎、前立腺肥大、陰萎

#### **婦人科系疾患**

更年期障害、乳腺炎、白帯下、生理痛、月経不順、冷え性、血の道、不妊

#### **耳鼻咽喉科系疾患**

中耳炎、耳鳴り、難聴、メニエル氏病、鼻出血、鼻炎、ちくのう、咽喉頭炎、へんとう炎

#### **眼科系疾患**

眼精疲労、仮性近視、結膜炎、疲れ目、かすみ目、ものもらい

#### **小児科疾患**

小児神経症（夜泣き、かんむし、夜驚、消化不良、偏食、食欲不振、不眠）、小児喘息、アレルギー性湿疹、耳下腺炎、夜尿症、虚弱体質の改善

上記疾患のうち、神経痛・リウマチ・頸肩腕症候群・頸椎捻挫後遺症・五十肩・腰痛 は、

鍼灸の保険適応が認められています。

※はり・きゅうの施術を受け、その施術について費用の支給を受けるためにあらかじめ医師から同意書の交付を受ける必要があります。